REPLAY

みなさんこんにちは。２月２３日は、「富士山の日」です。

私は、「富士は～日本～一の～山♫♯」の歌くらいしか

分かりませんが、あの高みに向かって頑張ります！

今日は、当院が行っている里親委託に向けての取り組みに

ついてご紹介したいと思います。

先日、初の外泊を「ひだまりのいえ」で行いました。

里母は家庭の事情で来ることができず、里父と一対一で過

ごしました。日中はこれまで通り楽しく遊ぶことができまし

たが、外が暗くなると不安で寂しくなり、「乳児院に帰りたい」

と 40 分間程度泣き続けましたが、里父の優しい声掛けと見守りにより、一晩を無事に過ごすことができました。
子ども自身も里父と一晩を過ごしたことで、安心感が深まりこれまで以上に里父を大好きになったと思います(*^^)v

外泊を終えた次の日です。
４月から入所予定のこども園に、子ども、里親夫妻、児童相談所、私と５名で伺い、園長先生始め主任の先生との顔合わせを行いました。これまで園の方では、里子を受け入れたことがないとのことでしたが、①子ども自身の発達状況 ②里親といっても普通の家庭と何も変わらないこと ③生みの親の現状や侵入などが及ばないことを丁寧に説明させてもらいました。

こども園側の理解を得ることができ、これで安心して４月から行くことができそうです。少し上のお兄ちゃんお姉ちゃん、同年代のお友達といっぱい遊んで、ケンカもして(笑)今以上に成長していってほしいと思います(^^♪

また、里親さんのお家にも初めて行きました。お昼ご飯を一緒に食べ、お家のイメージも少しずつできたと思います。

今後、職員から「もう少ししたら新しいお家（里親）に行く」ことを、手作り絵本を作成し伝えていきます。里親委託前に子どもの気持ちを整理する時間に充てて行きたいと思います。

最後に、いい話をひとつ。

こども園の先生から、「京極さんですよね！？」と言われました。私自身？？？よく話を聞くと、大学の実習で乳児院に来ていた方でした（大変失礼いたしました…）。そこで、当時の乳児院の印象を聞くと、「子ども思いの職員がいて、とてもよい施設でした。京極さんもとても優しくて…」とほっこりしました(笑)

これからも、子どもたちの受け皿となる保育園や幼稚園で活躍され生徒さん達の実習施設の一つとして、これからも乳児院は在り続ける必要があると再確認してきました。

里親支援専門相談員　京極